

平成22年9月12日(日)

地域のイベントで積木とモク粘土細工（白糠町）

9月12日(日)、白糠町のイベント「カミングパラダイス」において、根釧西部森林管理署と連携して「積木とモク粘土細工」のブースを出店しました。今回は、子ども達や親子連れを対象とした出しものとして、「積木」や「モク粘土」で遊ぶコーナーを設けて実施しました。これらの出店は、町のお祭りにあわせた白糠町の木育事業の一環として行われ、森林組合や道の機関の参加もありました。

モク粘土細工では、木の粉から出来た粘土を動物などの型に押し当てて型抜きする方法で行い、誰でも簡単にできることから、参加した子ども達はいろいろな形の作品を作って楽しんでいました。積み木では、マッチ箱程度の大きさのイチイやヤチダモなどの木片を、親子が思い思いに積み上げたり、崩したり、崩すのをためらうほど高く積み上げたりなど、木の感触を楽しんでもらいました。

イベントの出し物として馴染むかどうか心配でしたが、想像していた以上の集客もあり、親子が遊べる場として賑わいました。

（自然再生指導官 國井）



積み木遊びのコーナー



積み木遊びのコーナー